



令和元年12月18日
海上保安庁

令和元年度第2回『荒天時の走錨等に起因する 事故の再発防止に係る有識者検討会』を開催

第2回の検討会においては、第1回検討会にて検討された今期台風シーズンの総括と今後の課題を取りまとめた報告書作成にかかる議論を行い、次期台風シーズンに向けた各海域における具体的対策の検証等に反映していくこととしております。

1. 目的

本年度の検討会においては、検討会報告書（平成31年3月）を踏まえ、各海域において検討・実施された対策について、今期の台風シーズンにおける有効性・妥当性等について検証を行い、次期台風シーズンに向けた各海域における対策の検証等に反映するため、年内を目途に検討成果を取りまとめます。

《参考：荒天時の走錨等に起因する事故の再発防止に係る有識者検討会》

平成30年9月4日、台風21号が大阪湾付近を通過した際、荒天を避けるために錨泊していたタンカーが走錨し、関西国際空港連絡橋に衝突したことにより、同空港へのアクセスが制限されるなど、人流・物流等に甚大な影響が発生。このため、昨年10月に本検討会が設置され、荒天時の走錨等により、船舶交通の安全や重要施設の存続に甚大な被害をもたらすような事故の再発防止策に関する報告書を本年3月に取りまとめ。

2. 検討会メンバー

別紙1参照

3. 開催日時及び議事等

日時 令和元年12月20日（金）10：00～12：00

場所 中央合同庁舎3号館11階海上保安庁会議室

議事

- (1) 次期台風シーズンに向けた対策について
- (2) 第2次報告書（案）について
- (3) その他

荒天時の走錨等に起因する事故の再発防止
に係る有識者検討会委員・専門委員名簿

(敬称略 五十音順、◎座長、○副座長)

1 委員

- | | | |
|-----|---------------------|------------------|
| ◎河野 | かわの まりこ
真理子 | 早稲田大学法学学術院教授 |
| | きたがわ かよこ
北川 佳世子 | 早稲田大学大学院法務研究科教授 |
| | きば ひろこ
木場 弘子 | キャスター、千葉大学客員教授 |
| | しょうじ るり
庄司 るり | 東京海洋大学大学院学術研究院教授 |
| ○日當 | ひなた ひろよし
博喜 | 海上保安大学校名誉教授 |
| | わかばやし のぶかず
若林 伸和 | 神戸大学大学院海事科学研究科教授 |

2 専門委員

- | | | |
|-----|-----------------|-------------------------|
| 植松 | うえまつ ひろし
弘司 | (一社) 日本旅客船協会安全対策検討委員会委員 |
| 大久保 | おおくぼ やすひろ
安広 | (公社) 日本海難防止協会専務理事 |
| 大森 | おおもり あきら
彰 | (一社) 日本船主協会常務理事 |
| 大森 | おおもり としひろ
敏弘 | 全国漁業協同組合連合会常務理事 |
| 葛西 | かさい ひろき
弘樹 | (一社) 日本船長協会会長 |
| 立川 | たちかわ ひろゆき
博行 | 全日本海員組合中央執行委員 |
| 土肥 | どひ はるじ
晴司 | 日本内航海運組合総連合会環境安全委員 |
| 西本 | にしもと てつあき
哲明 | 日本水先人会連合会会長 |
| 村瀬 | むらせ ちさと
千里 | 外国船舶協会専務理事 |